

広報 富士

平成23年

1 | 1 No.1000

こちら編集長

明けましておめでとうございます。さらにおめでたいのは、手前みそになりますが、本号が昭和41年の創刊以来ちょうど1,000号に当たったことです。「広報ふじ」を改めて振り返りますと、昭和40年代の公害や校舎不足問題などから近年の少子高齢社会まで行政課題の変遷や対応が伝わり、1,000号の重みを感じます。そして、何よりもその時代の市民の皆様の息遣いを感じられます。取材・発行にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

1,000号を節目に新たな気持ちで、これからは表紙のウサギに負けない跳躍をお見せできるよう頑張ります。本年もよろしくお願いいたします。

人口 261,398人 (前月比-3)
男 129,436人 (-6)
女 131,962人 (+3)
世帯 97,424世帯 (+99) 12月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123 代 ☎0545-51-1456
ウェブサイト <http://fujishi.jp>
モバイルサイト <http://fujishi.jp/mobile>



■ 新春のごあいさつ ■ 広報ふじ1000号記念特集 ■ 元日号プレゼント

2011年のえと「ウサギ」の人絵に挑戦した
元吉原小学校と元吉原幼稚園の皆さん

明けまして おめでとう ございます



富士市長
鈴木 尚

明けましておめでとうございます。
市民の皆様方には、健やかに新年をお迎
えのこととお慶び申し上げます。
本年4月から第五次富士市総合計画がス
タートします。市民、企業、行政の協働に
より、だれもが永く住み続けたいと思う魅
力ある都市を構築するため「富士山のふも
と しあわせを実感できるまち ふじ」を
目指し、さまざまな施策をより具体的に推進してまいります。
また、地域の個性を活かし、富士山をテーマに環富士山地
域との広域連携を図り、富士山を中心とした風格ある都市の
確立に全力を傾注してまいりますので、市民の皆様のご理解
とご協力をお願い申し上げます。



富士市議会議長
小井 義正

明けましておめでとうございます。
市民の皆様方には、健やかに新春を迎え
られたことと心よりお慶び申し上げます。
地方公共団体の自主性、自立性が強く叫
ばれている今日、市議会の責務は従前に比
べて格段に大きくなっています。市議会で
は、こうした時代変革を認識し、さらには
二元代表制の権能発揮に向けてさまざまな
議会運営の改革と改善に取り組み、昨年、議会の最高規範と
しての富士市議会基本条例を制定いたしました。
私たち市議会議員は、さらなる富士市の発展のため、なお
一層の創意工夫を凝らし、努力してまいりますので、市民の
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

第1000号

平成23年1月1日発行

発行 富士市役所
富士市永田町1丁目100番地
編集 総務部広報広聴課

広報ふじ 2011

全世界帯配布

お知らせ

このページは、広報ふじ創刊号風のレイアウトにしています。

「広報ふじ1000号記念特集」



広報ふじ200号発行
昭和51年3月25日



広報ふじ100号発行
昭和46年11月5日



広報ふじ創刊号発行
昭和41年11月25日

吉原市・富士市・鷹岡町の旧2市1町が合併した昭和41年11月、「広報ふじ」が産声を上げました。それから44年間、富士市の「いま」を届け続けた広報ふじが、ついに1000号を迎えました。今回は、「広報ふじ1000号」を記念し、過去の広報ふじを振り返ります。



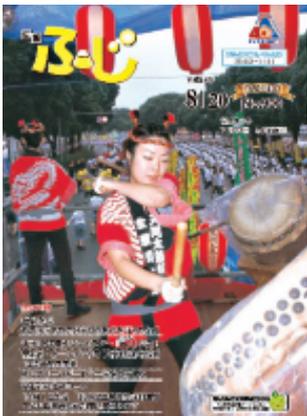
広報ふじ500号発行
平成元年4月5日



広報ふじ400号発行
昭和59年11月25日



広報ふじ300号発行
昭和55年7月25日



広報ふじ900号発行
平成18年8月20日



広報ふじ800号発行
平成14年4月20日



広報ふじ700号発行
平成9年12月5日



広報ふじ600号発行
平成5年8月5日



こんな記事がありました
 ～過去の連載物などを紹介します～

ふるさとの昔話

昭和51.6.25号～昭和52.4.5号

昭和55.1.1号～平成3年4.5号



昭和47年から52年にかけて「学園ひろば」という子ども向けのコーナーがあり、その中で、昭和51年から昔話のふるさとシリーズが連載されました。一度は終了しましたが、市民からの強い要望で、昭和55年から再び掲載し、平成3年まで続きました。さらに、平成6年から「富士の民話あれこれ」として復活し、平成13年まで続きました。

市内の主なできごとを「広報ふじ」とともに紹介します

- 昭和41年11月 吉原市・富士市・鷹岡町合併
 広報ふじ創刊号発行（タブロイド版）
- 昭和43年4月 東名高速富士インターチェンジ開設
- 昭和44年9月 身延線が西回りに変更、複線化
- 昭和45年4月 市庁舎完成
- 昭和46年4月 田子の浦港のヘドロ処理始まる



製紙工場などから排出されたヘドロは、全国的に有名になり、早急な処理を迫られていました。

- 11月 広報ふじ1000号発行（B5変形版）
- 昭和49年4月 富士愛鷹山ろく地域の大規模開発規制
- 7月 七夕豪雨で市内に15億円の被害
- 昭和50年2月 人口20万人突破
- 昭和51年3月 広報ふじ2000号発行
- 6月 広報ふじ「ふるさとの昔話」スタート
- 7月 富士球場オープン
- 8月 ディアナ号のいかり引き揚げ
- 9月 公設地方卸売市場オープン
- 昭和52年10月 蓼原大橋開通
- 昭和53年12月 富士本町アーケード完成
- 昭和54年8月 県立富士高校が夏の甲子園に初出場
- 10月 台風により柏原海岸に外国の大型貨物船グラティック号が打ち上げられる

あれから〇年…。あの人はいま？

～過去の取材者を再び取材しました～

最初の市民の声として登場 第3号（昭和42.1.3号）



望月 照由さん
 (境)

富士山ろくの自然環境を守ってほしい

私は「新市政への期待」というコーナーで、これからの富士市は田園産都市として工場や税収をふやすばかりでなく、百年先を見据えた計画をするよう提言しました。それは、富士山ろくの自然環境を守り、自然と人間が共生しながら富士市が発展していくことを願うものでした。

これからも富士山ろくの自然環境を守って、住みやすいまちにしてほしいですね。

市民総ぐるみで公害のないまちに

私は小学6年生のとき、「ぼくらのまち」というコーナーで、市民総ぐるみで課題に取り組めば、公害問題もなくなるだろうと提言しました。当時、富士市はヘドロ公害が深刻で、ヘドロ処分用の長い配管が富士川まで延びていたのを覚えています。今では環境に対する意識が高まり、用水路などの水がきれいになりましたね。

現在、私は教師として、将来の夢に向かって課題に取り組む子どもを育てています。

町の実感を書く小学生コーナーで登場 第105号（昭和47.2.5号）



望月 光明さん
 (岩松小学校長)

元日号表紙人絵

平成9.1.1号～



市内の小学校にお邪魔して、全校児童でその年のえとをかたどる人絵。その撮影風景はすっかり年末の風物詩になりました。もちろん、この元日号の表紙も人絵。次の人絵の撮影は、あなたの小学校かもしれません。

富士市写真館

平成15.4.5号～



現在も5日号の裏表紙に掲載している人気コーナーです。広報広聴課で撮影した市内の昔懐かしい風景や行事などの写真とそれにまつわるエピソードを皆さんに紹介しています。平成20年に旧富士川町と合併してからは旧富士川町時代の写真も紹介しています。

昭和55年1月 広報ふじ「ふるさとの昔話」再スタート

7月 広報ふじ300号発行（B5変形版）

11月 国道1号沿津バイパス開通

昭和56年4月 市立博物館オープン

昭和57年8月 台風10号で国鉄富士川鉄橋橋脚が流失



台風の影響で富士川が警戒水位を超える水量になり、東海道線下り富士川橋は橋脚が流失。

昭和58年11月 富士市民憲章を制定

昭和59年2月 広報ふじ「クローズアップ人」スタート

5月 広報ふじ「こちら編集室」スタート

8月 新市立中央病院オープン

潤井川大橋開通

11月 広報ふじ400号発行

昭和60年11月 核兵器廃絶平和都市を宣言

昭和61年4月 広報ふじの紙面レイアウトを大幅変更（B5版横書きからA4版縦書きへ、「まちかどネットワーク」がスタート）

「まちかどネットワーク」がスタート

7月 新第一清掃工場（現在の環境クリーンセンター）が稼働

8月 斎場オープン

11月 市制施行20周年

昭和62年12月 人口22万人突破

昭和63年2月 広報ふじ「新幹線新富士駅開業特集号」発行

3月 新幹線新富士駅開業

8月 保健婦人センター（現在のフイランセ西館）オープン

初代ミスかぐや姫として登場 第441号（昭和61.9.5号）



当時



現在

不安でいっぱいだった「ミスかぐや姫」

第1回「ミスかぐや姫コンテスト」が開催された当時、私は高校生でした。私が知らないうちに親戚が応募し、とても驚きましたが、本選へ出場することになりました。審査は、富士まつり当日に行われました。思いもしなかった「初代ミスかぐや姫」に選ばれ、うれしさよりも不安で胸がいっぱいになりました。1年間の活動は、いつも責任の重たさを痛感していましたね。今になって振り返ると、「ミスかぐや姫」として貴重な経験ができたと思っています。

武蔵さきさん（旧姓杉山）
みさきさん（天間）

これからの「富士市」について 新成人に聞きました



平成23年 富士市成人式 実行委員長 山崎 京介さん（鮫島）

全世代が交流するにぎやかなまちに

私が今回成人式の実行委員長になったのは、自分たちの力で成人式を成功させたいと思ったからです。また、ジュニアリーダースクラブの会長をしたり、中学校のテニス部のコーチをしたりするなど、地元の活動に積極的に参加しています。これからも、新成人として社会に貢献するためにと勉強して、富士市が老若男女すべての人が交流できるにぎやかなまちにしていけたらうれしいです。

戦争と平和特集

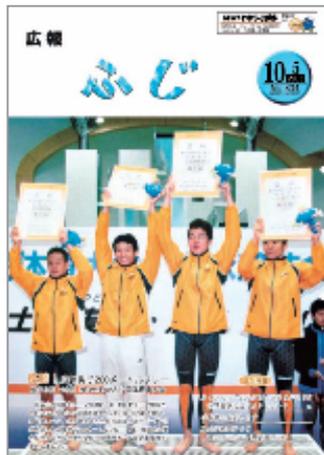
平成2.8.5号～



広報ふじは、皆さんに戦争の悲惨さを伝え、平和について考えてもらうため、毎年終戦記念日の前に「戦争と平和特集」を企画しています。これまで、多くの皆さんに戦争体験の話を聞かせていただいたり、貴重な遺跡や遺品を紹介したりしています。これからも、皆さんと「戦争と平和」について考えていきたいと思います。

NEW!! わかふじ国体

平成15.10.5号ほか



第58回国民体育大会NEW!!わかふじ国体が静岡県で開催されました。富士市は、夏季大会のメイン会場になり、総合開会式や競泳、飛込競技が行われました。競泳の市川選手や飛込競技の樋口選手をはじめ、地元富士市の選手の活躍もあり、大会は大いに盛り上がりました。そして、たくさんの方のボランティアの皆さんに支えられ、大会は見事成功しました。

平成元年 1月 中国嘉興市と友好都市提携

4月 広報ふじ500号発行

平成2年 4月 常葉大学富士短期大学開学

7月 広報ふじ初代「まちかどネットワーク」に5人が決定

8月 広報ふじ「戦争と平和特集」スタート

平成3年 7月 市立富士体育館完成

12月 アメリカ合衆国オーシャンサイド市と姉妹都市提携

平成4年 1月 広報ふじが2色刷りに

平成5年 4月 市役所が毎週土・日曜日閉庁に

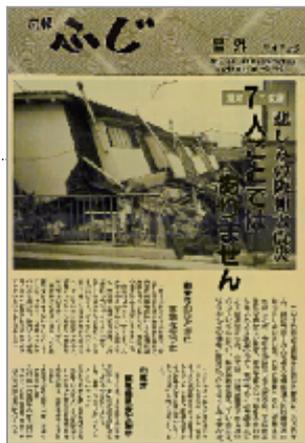
人口23万人突破

8月 広報ふじ600号発行

11月 ロゼシアターオープン

平成7年 1月 阪神淡路大震災発生

2月 広報ふじ号外発行



阪神淡路大震災の悲劇が人ごとではないことを訴えるため、初の「広報ふじ号外」を発行。

10月 市立中央図書館が移転新築オープン

平成8年 6月 富士マリンプールオープン

11月 市制施行30周年

平成9年 1月 広報ふじ「元日号人絵」スタート

9月 富士市ウェブサイト開設

12月 広報ふじ700号発行

平成10年 4月 広報ふじ「ふじサンハートリンク」で富士地区2市1町の話題を紹介

初代まちかどネットワーカーとして登場 第529号(平成2.7.5号)ほか



当時



現在

田島 浩子さん
(川成島)

人と人とのつながりを大切に
この当時、広報ふじは市民の登場が多くなり、ちょうど募集していた「まちかどネットワーカー」に応募しました。市民活動の傍らグラフィックデザイナーをしていたので、広報ふじの楽しい企画やデザインについて編集担当者によく話し合っていましたね。
長年、子ども向けの活動をしています。人と人とのつながりを大切に、子どもたちが輝ける環境づくりをしていきたいですね。

戦争体験を語り継ぐために登場 第600号(平成5.8.5号)ほか



当時



現在

橋口 傑さん
(今泉)

戦争の悲惨さを語り継ぐために
私は、次世代に戦争の事実を語り継ぎ、戦争体験者の話を記録として残すため、平成元年に「富士の語りへの会」を始めました。広報ふじ600号「戦争と平和特集」では、初めて中学校で戦争体験を語る機会をつくってもらい、その後市内外の小中学校でたくさん子どもたちに戦争体験を伝えるきっかけになりました。
「富士の語りへの会」は昨年21年間にわたる活動を終了しましたが、今後も広報ふじの「戦争と平和特集」は続けてほしいですね。

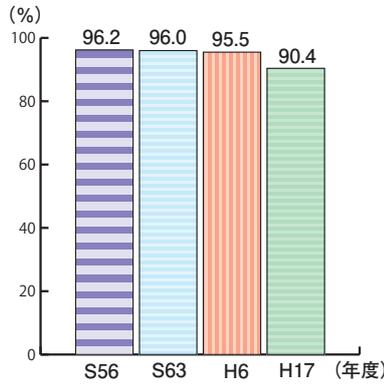
プロサッカー選手
よしかつ
川口能活さん
平成18.10.5号



富士市出身でJリーグジュビロ磐田に所属するプロサッカー選手の川口能活さん。
この年はワールドカップドイツ大会が行われ、日本代表のゴールキーパーとして大活躍しました。市役所でも大型スクリーンを設置し、深夜にもかかわらず約150人のサポーターが集結。選手たちに熱い声援を送りました。

**広報ふじは皆さんに
読まれています**
～過去の世論調査の結果～

広報ふじを読んでいますか？



過去の世論調査で、広報ふじをどの程度読んでいるか聞いたところ、「ときどき読む」まで含めると、毎回9割以上の人が広報ふじを読んでいると答えています。

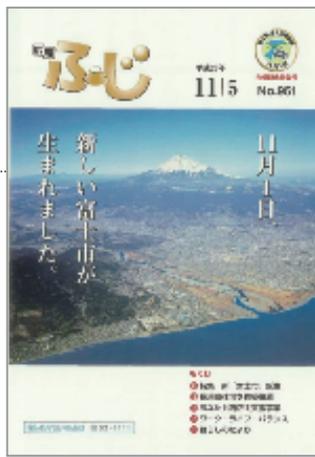
また、市役所の仕事や情報についても広報ふじから得ている人が一番多くなっています。

平成23年1月 広報ふじ1000号発行

11月 催

9月 男女共同参画都市を宣言
10月 第24回国民文化祭しずおか2009開催

平成21年5月 富士山ネットワーク会議発足



新「富士誕生」を記念した合併特集号。富士川町の魅力が詰まっています。

11月 富士市・富士川町合併（記念式典）

平成20年4月 ふじさんめつせ、富士市交流プラザオープン

平成18年8月 市制施行40周年

平成18年8月 広報ふじ900号発行

11月 コミュニティFM「Radio-f」が開局

平成17年10月 おしえてコールふじ開設

9月 富士芸術村開村

平成16年1月 広報ふじロゴを現在のロゴへ変更

平成15年9月 第58回国民体育大会NEW!!わかふじ

12月 戸塚洋二氏（故人）が名誉市民に

平成14年4月 広報ふじ800号発行

10月 天皇・皇后両陛下が44年ぶりに来富

4月 富士市が特別市に指定される

平成13年3月 消防防災庁舎完成

11月 第1回静岡岡崎市町村対抗駅伝大会優勝

10月 人口24万人突破

平成12年4月 富士常葉大学開学

平成11年4月 富士山こどもの国オープン

競泳界のニューヒーローとして登場
第663号（平成8.5.5号）ほか



当時



現在

市川 洋介さん
(大淵)

最初に広報ふじに載ったのは、競泳の日本選手権400メートル自由形で初優勝した高校生のときでした。それから、毎日オリンピックを目標に練習をしていました。オリンピックには出場できませんでしたが、国民体育大会に10回出場し、集大成が地元開催のNEW!!わかふじ国体でした。大会事務局職員として裏方も経験し、最後に出場した200メートル自由形リレーでは、僅差で静岡県チームが優勝。本当に思い出に残る大会になりました。

集大成になったNEW!!わかふじ国体

富士市の芸術を深めるため、過去5回登場
第651号（平成7.10.20号）ほか



当時



現在

漆畑 勇司さん
(柳島) 彫刻家

私は彫刻家として活動しながら、富士市に芸術・文化を広めるため、25年前に富士川で流木アートを始めました。その後、学生に教えたり、ボランティアで多くの行事に参加したりするなど、人々とのかわりを大切にしてきた結果、広報ふじに載る機会が多かったのではないかと思います。現在は、だれもが楽しみながら芸術に接することができる「富士芸術村」の村長として、ボランティアの教え子と一緒に、芸術を通じて心豊かな空間を提供しています。

芸術を通じて心豊かなまちに



広報ふじ1000号記念写真展

●とき 1月7日(金)～23日(日) 9時～17時

※1月11日(火)、17日(月)は休館

※1月12日(水)、13日(木)、19日(水)、20日(木)は19時まで

●ところ 中央図書館本館エントランス展示コーナー

●展示内容

○広報ふじ掲載写真

市庁舎完成、国子の浦港のヘッドロ処理、ロシア軍艦ディアナ号のいかり引き揚げ、富士市合併記念式典など

◎広報ふじバックナンバー

元月号などの人絵、平成7年2月5日号号外(阪神淡路大震災発生後発行)、平成20年11月5日号(富士川町との合併特集号)など

◆市内のコンビニエンスストアでも「広報ふじ」を配布しています

「広報ふじ」は、毎月2回(5日号・20日号)、町内会(区)を通じて配布しているほか、地区まちづくりセンターや図書館などの公共施設でも配布しています。さらに、平成22年10月20日号から、町内会(区)に未

加入の世帯の人などにもごらんいただくため、市内コンビニエンスストアでも配布を試行しています。ぜひ、ご利用ください。



市民が主役の「広報ふじ」



これからもあなたのまちに取材に行きます

「広報ふじ」を通して 富士市を皆さんに愛されるまちに

広報ふじは、富士市が誕生したときから、市政と市民を結ぶパイプ役として、市民の皆さんとともに成長してきました。今回晴れて1000号を迎えましたが、これまで多くの皆さんに登場していただき、地域の身近な話題や、さまざまな社会的問題を紹介することができました。

私は以前に、広報広聴の仕事に携わったことがあり、たくさんの方の意見を聞いて広報に反映させることの大切さを学びました。また、新たな広報手段として市のウェブサイトを開設しましたが、紙媒体の「広報ふじ」を見て市の情報

を得る市民が一番多いことも実感しました。これからも見やすくなりやすい紙面づくりを進め、「広報ふじ」を通して皆さんに富士市のまちをもっと好きになってほしいと思います。



総務部長 金刺 勝久

問い合わせ

広報広聴課

☎(55)2700 FAX(51)1456

※広報ふじのバックナンバーは、市ウェブサイトでごらんください。



年始めの運試し！
アンケートに答えて賞品をゲットしよう！

元日号プレゼント

すべてのアンケートにお答えいただいた人の中から抽せんで、すてきな賞品が当たります。皆さん、ぜひご応募ください！

★今注目のご当地グルメ★

F つけナポリタン加盟店共通
食事券2,000円分 5人

G ナポリストラップ 10人

提供：富士つけナポリタン大志館（F・Gとも）



H 富士市商工会レストラン食事券
（富士山ひららセット2人分）
5人

I 富士川早摘みかんまるごとしぼり
2本（ストレート・加糖各1本）
5人

提供：富士市商工会（H・Iとも）



★今話題のエコ商品★



J LED電球60W相当 20人
※型番は選べません。

K 電球型蛍光灯60W相当
（2個パック） 10人
提供：ノジマ電気（J・Kとも）

★富士市の観光グッズ★

L 富士市の観光振興グッズ
（マグネット、絵はがきなど）
10人

提供：富士山観光交流ビューロー



応募方法

1月14日（金）（必着）までに、はがきまたは
FAX・Eメール（件名「元日号プレゼント」）に
Q1～Q3のすべてのアンケートの答えと希望
賞品（A～Lから1つ）、郵便番号、住所、氏名、
年齢、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市
役所広報広聴課（☎51-1456 ①kouhou@div.
city.fuji.shizuoka.jp）へ

※応募は1人1通のみ（応募者多数の場合は抽せん）。
※当せん者は広報ふじ2月5日号で発表します。

アンケート

広報ふじはとじ穴をあけてあります（元日号を除く）が、とじ穴は必要だと思いますか？

Q1 ①必要 ②必要ない ③どちらでもよい

あなたがこれまでの広報ふじ紙面で印象に残っている記事は何ですか？

Q2 例) 特集「働きたい母になりたい」(平成22年11月5日号掲載) など

広報ふじで今後取り上げてほしいことは何ですか？

Q3 例) 公園や観光スポットの紹介 など

賞品

★広報ふじに登場してみませんか★

A 広報ふじ平成23年3月20日号
表紙モデル 1組

※花など季節感のあるものとあなたと一緒に撮影します。



1000号記念
特別企画
Special!

★ロゼシアター公演チケットを各ペア2組に★

提供：ロゼシアター



B 立川談春独演会
2月20日（日）
14:00開演



C デーモン閣下の邦楽維新
3月12日（土）
18:00開演



DE ロゼこどもスプリングコンサート
3月22日（火）
D 午前の部
11:00開演
E 午後の部
14:00開演



募集

観光パンフレット「ふじさんぽ」に
広告を載せてみませんか

観光課 ☎55-2777

発行部数 / 2万5,000部

掲載料 / 1枠5万円

掲載枠数 / 6枠 (掲載位置は抽せん)

選定方法 / 原則先着順。ただし、内容を掲載基準などに基づき審査した上で決定

申し込み / 1月5日～2月4日 (必着) に、直接または郵送で、富士市広告掲載申込書 (観光課で配布または市ウェブサイトダウンロード可) に広告原稿 (電子データと出力見本) を添えて、〒417-8601 富士市役所観光課へ

田子の浦港富士地区 港湾緑地の愛称

工業振興課港湾振興室 ☎55-2816

静岡県が田子の浦港で整備を進めている緑地の愛称を募集します。募集内容の詳細は、各地区まちづくりセンターなどで配布するチラシ、または田子の浦港管理事務所ウェブサイトをごらんください。

募集期限 / 1月31日(月) (消印有効)

問い合わせ / 静岡県田子の浦港管理事務所整備課 ☎33-0498

☞ <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki3/tagonoura>

富士市コールセンター
おしえてコベルふじ
☎53-1111

受付時間 8:30～19:00

土・日・祝休日でも受け付けています
※年末年始(12/29～1/3)はお休みです

第5回 ラ・ホール寄席

ラ・ホール富士 ☎53-4300

とき / 3月6日(日)

13:30開場 14:00開演

ところ / ラ・ホール富士2階多目的ホール

内容 / 春風亭柳朝さん (真打ち)、三遊亭粹歌さん (二つ目) による落語

入場料 / 500円

申し込み / 1月10日(月)から前売り券を販売します。直接ラ・ホール富士へ

特定計量器の定期(集合)検査

商業労政課 ☎55-2907

対象 / 取引や証明に使用しているばかり

持ち物 / はかり、通知はがき、手数料
実施機関 / (社)静岡県計量協会

検査日	会場	時間
1月	1(火) 富士川まちづくりセンター	10:30～15:00
	2(水) 大淵まちづくりセンター	
	3(木) 富士見台まちづくりセンター	10:30～14:00
	4(金) 松野まちづくりセンター	
2月	7(月) 吉原まちづくりセンター	10:30～15:00
	8(火) 富士市医師会医療センター	
	9(水) 鷹岡まちづくりセンター	10:30～14:00
	10(木) JA富士市原田支店	
	14(月) 吉原まちづくりセンター	10:30～15:00
	15(火) JA富士市吉永支店	
	16(水) 須津まちづくりセンター	10:30～14:00
	17(木) 田子浦まちづくりセンター	
	18(金) 富士駅南まちづくりセンター	10:30～15:00
	21(月) JA富士市元吉原支店	
	22(火) JA富士市岩松支店	10:30～14:00
	23(水) ふじさんめっせ	
24(木)		

お知らせ

テーマ展

「たこ 麻 収蔵品展・田澤コレクション」

市立博物館 ☎21-3380

とき / 1月8日～2月27日

ところ / 市立博物館本館特別展示室内
内容 / たこをテーマとした館収蔵品及び市内在住の田澤昌代さんから寄贈された資料の展示

第4回

ラ・ホールDEサイエンス

ラ・ホール富士 ☎53-4300

とき / 1月23日(日) 10:00～15:00

ところ / ラ・ホール富士2階多目的ホール

内容 / 「実験・体験・展示」コーナー、サイエンスショー

対象 / 小・中学生、一般

入場料 / 無料 (当日直接会場へ)

自死遺族のための個別相談会 すみれ相談会

健康対策課 ☎64-8993

とき	ところ
1月19日(水)	富士健康福祉センター ☎65-2155
2月16日(水)	東部健康福祉センター (沼津市)☎055-920-2087
3月16日(水)	熱海健康福祉センター ☎0557-82-9120

対象 / 大切な人を自死で亡くした人
相談料 / 無料

申し込み / 予約が必要です。事前に電話で各会場へ

問い合わせ / 静岡県精神保健福祉協会 ☎090-2687-2785



献血にご協力を

福祉総務課 ☎55-2757

1月の献血

日	場所	時間
3日(月)	ジャンボエンチャー 富士店駐車場	9:30～16:00 (昼休み12:00～13:15)
6日(木)	市役所駐車場	
9日(日)	ジャンボエンチャー 富士店駐車場	
20日(木)	市役所駐車場	

※10月から献血バスでの成分献血はできなくなりました。

平成23年 消防出初式

1月9日(日)

8:30～11:40

- ①式典 市役所駐車場
- ②分列行進 市役所周辺道路
- ③消防演技 市役所駐車場
- ④一斉放水 市役所駐車場

※青葉通りは10:00～10:30の間、車両通行どめになります。雨天の場合は①のみをロゼシアターで行います (10:00～11:15)。

◆出初式の写真コンテストも行います。



問い合わせ / 消防本部管理課 ☎55-2851



古文書特別講座

中央図書館 ☎51-4946
 と き／2月18日(金) 13:30～15:30
 ところ／岩松まちづくりセンター
 講師／福澤清、石川雅也(中央図書館職員・駿河郷土史研究会会員)
 定員／20人(先着順) 受講料／無料
 申し込み／1月11日(火)の9:00から受け付けます。直接中央図書館または岩松まちづくりセンターへ

脂肪撃退!! 運動講座

健康対策課 ☎64-8993
 と き／2月2日・9日・16日・23日
 各水曜日 10:00～11:30 計4回
 ところ／フィランセ西館4階大ホール
 内容／コアストレッチウオーキング、筋力トレーニングなど
 対象／64歳以下で医師による運動制限のない人で、運動習慣がない人、正しい運動方法がわからない人など
 定員／25人(先着順)
 受講料／無料
 申し込み／1月20日(木)までに、電話で健康対策課へ

野外活動指導者養成講習会 ～自然遊びのガキ大将を育成する～

少年自然の家 ☎35-1697
 と き／3月12日(土)・13日(日)
 1泊2日
 ところ／少年自然の家
 対象／大学生、青少年団体指導者、小中学校教職員、野外活動に興味がある人ほか
 定員／30人(先着順)
 参加費／1,800円(3食分の食事代を含む)
 持ち物／筆記用具、野外活動のできる服装、雨具、上履き、宿泊用具、洗面具、着がえ、帽子、バンダナ、デイバッグ、軍手
 申し込み／1月30日～2月6日に、電話で少年自然の家へ

富士南地区 三世代交流大集会

と き／1月23日(日) 8:00～
 ところ／富士川緑地自由広場
 ★凧あげ大会
 ★もちつき大会
 ★模擬店 ほか
 富士南まちづくりセンター ☎64-3632

富士発・女と男のフォーラム やってみよう!創ってみよう 心と心の出会い

男女共同参画課 ☎55-2724
 と き／1月30日(日) 13:30～15:30
 ところ／フィランセ西館4階大ホール
 内容／お話とワークショップ
 講師／漆畑勇司さん(彫刻家・富士芸術村村長)
 参加費／無料(当日直接会場へ)
 問い合わせ／アート・プラス・ワン
 代表 片山 方
 昼間 ☎090-3448-2265
 夜間 ☎・☎38-1512

平成22年度 甲種防火管理再講習・新規講習

消防本部予防課 ☎55-2859
 ①再講習
 と き／2月8日(火) 13:00～16:45
 定員／50人(先着順)
 受講料／2,000円
 ②第3回新規講習
 と き／2月9日(水)・10日(木)の2日間
 9:00～16:45
 定員／130人(先着順)
 受講料／5,000円(富士市防火協会加入事業所4,000円)
 …①②とも…

ところ／消防防災庁舎7階大会議室
 申し込み／1月11日～2月1日に、受講申請書(消防本部予防課で配布)、写真1枚(縦4cm×横3cm)、受講料を持参し、消防本部予防課へ

鷹岡まちづくりセンター成人講座 使える!エクセル集中講座

鷹岡まちづくりセンター ☎71-3215
 と き／2月3日～3月24日の毎週木曜日 13:30～15:30 計8回
 ところ／鷹岡まちづくりセンター
 対象／市内在住・在勤の成人
 定員／18人(応募者多数の場合抽せん)
 受講料／2,300円(テキスト代含む)
 申し込み／1月4日～14日(消印有効)に、直接または往復はがき・Eメールに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒419-0202 久沢836-1 鷹岡まちづくりセンターへ
 ☎c-takaoka@div.city.fuji.shizuoka.jp
 ※Eメールの場合は件名を「パソコン講座受講希望」とした上で送信確認の電話をかけてください。

講座・教室

外国人に教えるための 日本語ボランティア入門講座

国際交流室 ☎55-2704
 と き／1月27日からの毎週木曜日
 13:30～15:00 計10回
 ところ／富士市交流プラザ会議室2ほか
 対象／外国人に日本語を教えたい人(未経験者)で講座修了後、日本語ボランティア講師を行える人
 定員／15人(応募者多数の場合抽せん)
 受講料／1,000円(テキスト代)
 申し込み／1月21日(金)までに、直接または電話・FAX・Eメールで国際交流ラウンジFILS(富士市交流プラザ内)へ
 ☎64-6400 ☎64-6404
 ✉fils@div.city.fuji.shizuoka.jp

青少年センター 青少年教養講座

青少年センター ☎21-6129
 ①教えてシェフⅢ
 ～富士市厚原のマルベージャ～
 と き／2月7日(月) 19:00～21:00
 講師／太田賢之介さん(マルベージャのシェフ)
 対象／市内在住・在勤の昭和50年4月2日～平成7年4月1日に生まれた人
 受講料／2,000円
 ②キッズのバレンタインスイーツ
 と き／2月12日(土) 13:30～16:00
 講師／小澤緑さん
 対象／市内の小学校に通う、小学4～6年生
 受講料／1,500円
 …①②ともに…
 ところ／青少年センター
 定員／16人(応募者多数の場合抽せん)
 申し込み／1月11日～14日(必着)に、直接または往復はがきに住所、氏名、年齢、生年月日、性別、勤務先・学校名、学年・保護者名(②のみ)、電話番号、講座名を記入し、〒417-0862 石坂456-5 青少年センターへ
 ※①は、利用者会年間費1,000円が必要です。



●母子・父子家庭等児童入学祝金・支度金の支給●

市は、来春、小学校または中学校に入学する子どもを扶養している、ひとり親家庭、両親のいない家庭、両親のどちらかが障害者の家庭に、入学祝金として1万円を支給します。また、市民税非課税の世帯には、さらに支度金として1万円を支給します。

下記の支給要件に該当する家庭は、「母子家庭等児童入学祝金・支度金支給申請書」を提出してください。

支給要件／①～③のすべてに該当する場合

- ①平成22年12月31日時点で富士市に住所があり、平成23年4月1日まで富士市民である
- ②平成23年4月に小学校または中学校に入学する子どもを扶養している
 - ・小学校入学：平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ
 - ・中学校入学：平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれ
- ③次のいずれかに該当する家庭である
 - ひとり親（母子・父子）の家庭：父または母が死亡、離婚、未婚、または1年以上行方不明
 - ※母または父が婚姻の届け出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある場合や、離婚前提で別居している場合などは該当しません。
 - 両親のいない家庭：父母が死亡または1年以上行方不明
 - 両親のどちらかが身体障害者手帳1・2級または精神障害者保健福祉手帳1・2級である家庭

提出期限／1月31日(月) (必着)

申し込み／申請書に必要事項を記入し、直接または郵送で、〒417-8601富士市役所子育て支援課へ

※対象者には、申請書を発送します。申請書が届かない場合でもご自身が対象と思われる場合は、子育て支援課へお問い合わせください。

※申請書を提出しない場合、入学祝金・支度金は支給されませんのでご注意ください。

子育て支援課 ☎55-2738

おわびと訂正

広報ふじ12月5日号5ページ「インフルエンザワクチン接種費用を助成します」の表中に誤りがありました。おわびするとともに訂正します。

・65歳以上の入

①接種費用から1,000円を引いた金額

②1,000円

平和宣言都市共同パネル展

広報広聴課 ☎55-2736

と き／

1月26日～30日 9:00～17:00

(26日・27日は19:00まで、28日は休館)

ところ／中央図書館本館エントランス展示コーナー

内容／広島・長崎・第五福竜丸の被爆写真の展示

ビデオ広報「ふじ広報室」

1月1日～14日は鈴木市長とかぐや姫クイーンの対談です。

ケーブルテレビアナログ3チャンネル

月～金曜日 7:00～、11:00～、20:30～

ケーブルテレビ地上デジタル121チャンネル

月～金曜日 7:30～、11:30～、20:30～ 土曜日 20:30～

広報広聴課 ☎55-2700

1月の水道料金・下水道使用料

お客様センター ☎55-2846

～納入は便利で確実な口座振替で～

申し込み／直接、市指定金融機関の窓口へ
持ち物／通帳・印鑑(届印)・水栓番号(各世帯配付の「使用水量等のお知らせ」に記載)

※納入は2か月に1度です(地区によって納入月が異なります)。

○納入期限 1月31日(月)

(納入通知書は、1月中旬に郵送します)

○口座振替日 1月28日(金)



市民れんらく版

★東国原英夫 宮崎県知事講演会

このまちをどげんかせんといかん
～自分が変われば未来は変わる～

と き／1月15日(土)

開場13:00 開演13:30

ところ／ロゼシアター大ホール

定員／1,500人

入場料／1,000円(全席自由)

申し込み／随時受け付けています。

直接ロゼチケットセンターへ

☎60-2500

問い合わせ／(社)富士青年会議所事務局

局(平日9:30～15:30) ☎53-3366

★静岡県立静岡中央高等学校通信制課程 平成23年度新入生募集

募集期間／3月18日～31日

募集人数／1,000人

応募資格／中学校卒業またはこれに準じる者、高等学校中退者、転入希望者

入学者選抜方法／書類選考

問い合わせ／静岡中央高校通信制課程中央キャンパス事務室

☎054-209-2431

★不登校、ひきこもり、家庭内暴力の子を持つ親のためのセミナー
～親が変われば子が変わる～

と き／1月26日(水) 10:00～11:30
(毎月第4水曜日に開催)

ところ／フィランセ西館3階会議室1

講師／小林茂久さん(生活倫理相談士)

定員／25人(先着順) 受講料／無料

申し込み／事前に電話で大石 方へ

☎60-1384

1月の納期

1月15日～31日

市・県民税 第4期

国民健康保険税 第7期

収納課 ☎55-2730

介護保険料 第7期

介護保険課 ☎55-2766

後期高齢者医療保険料 第6期

国民健康保険課 ☎55-2754

夜間納税相談

1月17日(月) 17:15～19:00

1月25日(火) 17:15～19:00

収納課 ☎55-2730



●平成22・23年度助成事業●

平成23年1月から子宮頸がん予防ワクチン・ 小児用肺炎球菌ワクチン接種費用を助成します

①子宮頸がん予防ワクチン

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染を防ぎ、子宮頸がんの発生を予防するため、任意接種である子宮頸がん予防ワクチンの接種費用の一部または全額を助成します。

対象／富士市に住民登録がある中学1年生～高校3年生相当年齢の女子

助成額／中学1年生～高校1年生相当年齢：接種にかかる費用の全額を助成

高校2～3年生相当年齢：1回の接種につき1万円を助成（計3回で3万円）

★平成22年度に高校1・3年生の人は、経過措置として22年度中（平成23年3月31日まで）に1回目の接種を開始すれば、23年度中の接種も同等の助成が受けられます。

接種回数／3回（初回接種の1か月後に2回目、2回目の接種の5か月後に3回目を接種）

★計3回の接種には6か月かかります。24年度以降の助成については未定ですのでご注意ください。

※対象者には1月上旬に接種券などを郵送します。現在小学6年生の女子には3月末に郵送予定です。

②小児用肺炎球菌ワクチン

肺炎球菌は、細菌による子どもの感染症の2大原因の一つです。細菌性髄膜炎、菌血症、肺炎、副鼻腔炎、中耳炎といった病気（感染症）を引き起こします。これらの感染症を予防するため、任意接種である小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部を助成します。

対象／生後2か月～5歳未満の人

助成額／1回の接種につき5,000円（接種回数は年齢により異なります）

助成回数／

年齢	生後2か月～6か月で開始	生後7か月～11か月で開始	1歳から開始	2歳から開始
接種回数	4回（初回3回、追加1回）	3回（初回2回、追加1回）	2回	1回

……………①②とも……………

申し込み／市内の医療機関に直接お申し込みください。市外の医療機関で接種した場合、小児用肺炎球菌ワクチンは事後償還しますので、接種前に健康対策課（フィランセ）までお問い合わせください。子宮頸がん予防ワクチンは原則償還しません。

※ワクチンの接種費用の助成は、平成22・23年度の事業です。24年度以降の実施については未定ですので、お早目の接種をお勧めします。

健康対策課（フィランセ） ☎64-8992 ☎64-7172

1月の休日当直医

Available Hospitals in the Holiday
Pronto Socorro em atendimento fim de semana e feriados

ダイヤル当直医案内
☎51-9999

1月の接骨師会 休日当直当番

とき

産婦人科 Gynecology & Obstetrics
Gineco-Obstetrica
8:00～翌8:00

眼科 Ophthalmology
Oftalmologia
9:00～17:00

耳鼻科 Otorhinolaryngology
Otorrinolaringologia
8:00～17:00

柔道整復 Bonesetter
Clinica de osteopatia
9:00～17:00

9(日) たむらレディースクリニック 65-7777 米之宮町

10(月) 長谷川産婦人科医院 53-7575 吉原5

16(日) 船津クリニック 65-7272 川成新町

23(日) 中島産婦人科医院 51-4188 青島町

30(日) 宮崎クリニック 66-3731 松岡

杉浦眼科 65-8500 川成新町

花崎眼科医院 66-0100 青葉町

加藤医院吉原分院 57-3000 中央町1

長野医院(眼科) 60-7100 柚木

ながかわ眼科 29-6000 富士宮市

長谷川耳鼻咽喉科医院 30-8733 浅間本町

崎川医院 975-9131 清水町

三島中央病院 971-4133 三島市

かみで耳鼻咽喉科クリニック 53-3321 伝法

ぬまづ島田医院 924-0780 沼津市

下村接骨院 35-3663 大淵

はぎはら接骨院 72-4524 天間

するが接骨院 51-2215 永田北町

藤島接骨院 81-4732 中之郷

久保寺接骨院 85-3916 北松野

救急

Emergency Hospitals
Hospitais de emergencia

内科・小児科・外科 Internal Medicine/Pediatrics/Surgery
Clinica Geral/Pediatricia/Cirurgias

救急医療センター ☎51-0099 津田217-2

平日19:00～翌8:00 土曜日14:00～翌8:00 日曜・祝休日 9:00～翌8:00

〈診療上の注意〉必ず保険証を持参してください。緊急性により診察順が変わり、投薬は1日分です。

歯科 Dentistry
Dentistas

歯科医師会館 ☎53-5555 伝法

日曜・祝休日 9:00～12:00

13:00～16:00